

(様式第 2 号)

議会報告会（意見交換会）実施報告書

令和 7 年 8 月 2 6 日

都城市議会議長 様

広報広聴委員長 森りえ

議会報告会（意見交換会）実施要領の規定（11－イ）により、次のとおり報告します。

開 催 日 時	令和 7 年 7 月 3 日（木） 午後 3 時 30 分～午後 5 時					
開 催 場 所	都城工業高校					
出 席 議 員	森りえ 小玉忠宏 畑中ゆう子 広瀬功三 川内賢幸 羽田野徳寿 坂元唱子 綿屋善明 別府英樹 楠見千穂子 成合円美佳 たかだみか					
役 割 分 担	班 長	森 りえ	副班長 (司会)	小玉 忠宏	記録者	各班 1 名
参 加 人 数	都城工業高校生 29 名 ・ 議員 12 名					
意見交換会の種類	公民館公募型 ・ 地域テーマ型 ・ 団体公募型					
団 体 名	県立都城工業高校					
テ ー マ	都城で一番問題だと感じていること 都城を今後どうよくしていきたいか					
意見交換の概要 (主な意見・質問・要望等)	○高校生 4 ～ 5 人、議員 2 人のグループを 6 グループづくり、「都城で一番問題だと感じていること」、「都城を今後どうよくしていきたいか」について意見交換を行った。 都城工業高校の生徒達との意見交換会では、都城市が抱える課題や、今後の改善に向けた様々な意見が出された。 【都城市の主な問題点】 <u>○娯楽施設の不足と対策</u> 都城市には、ボウリング、カラオケ、ゲームセンターなどが 1 か所で楽しめる「ラウンドワン」のような娯楽施設が少なく、多くの生徒が不満を感じている。また、放課後に自由に使える居場所や、無料で利用できる体育館の整備が望まれている。 駅構内に観光案内所のような施設を設置したり、中央通りのシャッター街を再活用して魅力的な店舗を誘致したりする案も出された。					

	<u>○交通インフラの課題と改善案</u> バスや電車の本数が少なく、特に電車はほとんど利用されていない。また、バス停に屋根がない、道路がでこぼこで危険、街灯が少ないといった問題も指摘された。JR 五十市駅にはトイレがないという声もあった。 <u>○雇用の課題</u> 多くの高校生が、給料の低さを理由に県外での就職を考えている。都城市に大手企業や給料の高い企業があれば、地元での就職を望む声が多い。安定した就職先の増加が求められている。 <u>○市の魅力発信の不足と PR 強化</u> 「都城といえばこれ！」という明確なイメージがなく、「肉と焼酎」という市のイメージも浸透していない。「肉」については、宮崎牛は高価で、多くの生徒は「焼肉きんぐ」を利用しているのが実情だ。観光 PR が下手で、インスタ映えする場所が少なく、SNS での情報発信が不足しているという指摘もある。「焼肉きんぐ」とのコラボ企画や、「肉ガチャ」の設置場所を増やすといったアイデアや、SNS を活用したインスタ映えスポットの PR 強化が提案された。また、既存の温泉施設とキャンプ施設を組み合わせた観光地としての PR も有効だろう。 <u>○その他の提案</u> 自転車通学のヘルメット着用を促すため、かっこいいヘルメットを導入したり、ヘルメットコンテストを実施したりするユニークな案が出た。都城市の「治安の良さ」や「住みやすさ」をさらにアピールすることで、市の魅力を発信していくべきだという意見もある。
そ の 他 (今後の課題・感想等)	○出された意見を分析し、政策提言分科会に提案する。 ○前回同様、高校生の居場所が必要という意見が出されていて、今後、議会としてどう取り組むか、方向性を示す必要がある。 ○道路の凸凹の改修や、街灯（防犯灯）の設置については、高校生に具体的な情報を発信してほしいという意見が議員から出された。 ○バス、JR の本数など、通学に支障が出ているという意見が出された。また、「ジュニアパス」の導入など、公共交通の問題は全世代の問題として考えていく必要がある。 ○都城西高校の生徒が「探求の時間」に関連して傍聴に来ていた。 ※「都城万博（仮称）」への議員参加の要請あり。